

◎小柴胡湯エキス顆粒 (9) [ソムラ] [内]

【重要度】 【分類】 漢方製剤

【単位】 ◎2.5g/包

【常用量】 7.5g/日

【用法】 分3 [食前又は食間]

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 応用範囲が広く、諸種の熱性病、感冒、流感、咽喉炎、耳下腺炎、肺炎、胸膜炎、気管支炎、肺結核、肝炎、胃腸炎などに用いられ、慢性肝炎の治療薬としては主流を占めている。柴胡の薬理作用として抗炎症作用、免疫調節作用、動脈硬化改善作用などが明らかにされつつある。

【主な副作用・毒性】 【警告】 間質性肺炎が現れることがあるので、発熱、乾性咳嗽、労作時呼吸困難等の症状（初期症状はこの3つの症状である）が現れたら、速やかに胸部 X 線等の検査を行い、本剤の投与を中止し適切な処置を行う。なお、間質性肺炎はインターフェロンαとの併用例で多く報告されている。肝障害、膀胱炎様症状、低K血症、偽アルドステロン症（高血圧、浮腫）

【備考】 甘草を含むので低カリウム血症や血圧上昇に注意する。漢方製剤の併用では含有生薬の重複（特に甘草）に注意する【禁忌】 インターフェロンを投与中の患者、肝硬変、肝癌の患者（間質性肺炎が起り、死亡等の重篤な転帰に至ることがある）。慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が10万/mm³以下の患者（肝硬変が疑われる）

【更新日】 20200106

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。